

「山に連れて行って！」と言われたら

2018.11/28

友人・知人に「今度、山に連れて行ってよ！」と言われたら。

そんな時、どうしたらよいのか？ 何に注意したらよいのか？ 考えてみましょう。

(以下、連れて行く人(あなた)をAさん、連れて行ってもらう人をCさんと表記します)

① 「Cさんは、何もわからない人」という前提をもつ

Cさんもいろいろです。老若男女、ふだんスポーツをやっている人もいれば、運動嫌いの人もいます。しかし体力ある人でも「登山に関してはまったくできない」を前提に考える必要があります。

② 「Aさんは登山のベテラン」だと思われている

山の会に入っていたり、ちょっと雪山の経験があると、「Aさんは山のベテラン。Aさんについていけば絶対安心」だとCさんは思っている。

③ メンバー構成

Aさん1人が連れて行く場合、Cさんは1人だけ。1対1が基本です。できれば、Aさんレベルの人が2人以上で、Cさん1人を案内するのが安全です。

「私は行かないけど、友人のCさんを頼むよ」と第三者に頼まれ、まったく知らないCさんを案内するのは危険です。

④ 装備

お試しハイキングのCさんでも、最低限、靴と雨具は、きちんとしたものを用意しましょう。その他の衣類などは、「品質表示タグを見て、化学繊維が50%以上入っているものを身につけてください」と指示します。

Cさんに必要装備を連絡する時「ひとつひとつ文字に書いて」リストを渡し、間違いのないように、用意してもらいましょう。

⑤ 山やコースの選び方

◎山域 Aさんのなじみの山。そしてAさんの力の50%~70%くらいの山

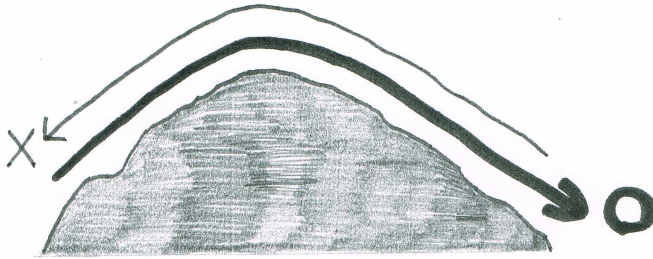
◎歩行時間 3時間~3時間30分くらい 車道や平らな林道歩きを入れて、プラス30分~1時間。実働4時間前後までが安心です。

◎季節 春か秋がベスト(300~500mの低山なら、冬もOK)

◎コース 見所(お花畑・滝や流れ・展望・茶屋)があるコースがよい。

→単調な樹林道や道路ばかりでは、あきてしまう。

急な道を登りに、緩斜面を下りに使う。→事故は下り道に多い



登りはゆっくり歩けば大丈夫。
下りは緩やかなので、
疲れていても比較的安全

⑥ 山行計画書

Aさんは山行計画書をつくり、Cさんには「必ず家族に渡す」よう伝えます。

メンバーとその家族が、具体的なコース、参加者、住所・電話番号・緊急連絡先を共有するようにします。

万一の「保険」についても説明しておきます。

【★初めての山あるある(その1) 登山を、ピクニックや旅行と間違えている】
好きな場所で写真を撮ったり、長時間休憩し、時間ばかりが過ぎていく。街だったら予定を変更。タクシーで戻ればいいけれど・・・

【★初めての山あるある(その2) 山頂ではたっぷり時間をとってお弁当】
せっかくの登山だから、山頂では、デパ地下で買った豪華幕の内弁当を食べなくちゃね。食後のスイーツも多めに用意しよう。

⑦ 指示は具体的に。理由も説明する

- | | |
|-----------------------------------|--|
| ×「もう少しで出発します」 | ○「15分後、10時出発です」 |
| ×「急な登りがつづくのでがんばってください」 | ○「急な登りは1時間つづきます。
途中30分たったら休憩します」 |
| ×「ここ、滑りやすいので
気をつけてください」 | ○「ここ、滑りやすいので、上の枝をつかんで
登ってください。赤い石には足を乗せないで」 |
| ×「前から人が来たので
よけてください」 | ○「前から人が来たので、
この木の脇によけましょう」 |
| ×「この上は稜線ですから
風が出ますよ」 | ○「この上は稜線で、風が出て寒くなります。
帽子や手袋を着けてください」 |
| ×「あんまり写真ばかり撮っていると
遅くなってしまいますよ」 | ○「3時のバスが最終便ですから、
遅くとも2時には出発しますよ」 |

⑧ 目白に勧誘しましょう

1日が終わり、脈がありそうならば、かならず目白に勧誘しましょう。登山後の反省会でもAさんの能力が試されます・・・